



(↑ 学習会の様子)

日本語指導が必要な 外国にルーツをもつ子ども達の学習支援事業 —もりやまこども日本語学習クラブ—

わたしたちの思い

どんな子どもたちにも無限の可能性があり、明るい未来を夢見ることは当然の権利です。しかし、十分な教育支援がないことで、子どもの学力や進路に格差が生まれることも確かです。社会の多様化が進み、外国にルーツを持つご家庭も増える中、日本語でじっくり学習に取り組む体験が十分にとれず、「勉強が分からない、宿題ができない」という子ども達をサポートしたいという思いから、この活動をスタートしようと考えました。

現在、守山市内の公立小中学校で日本語指導員の支援を受けているのは15名（2022年5月現在）。会話ができて支援が必要ないと思われる子どもでも、日本語に触れる体験が不足していると、学年を追うごとに日本語での学習格差が開いてきてしまいます。

そんな中、日々の宿題や学習で分からないところと一緒にやっていく地道な学習サポートが大きな役割を果たすと考えています。子どもたちが将来に希望を持ち、望む進路を実現していく土台づくりのサポートができればと願っています。



(参加者募集のチラシ→)



(↑ボランティアの皆さま（一部）)

実施内容

- 日時 | 7月下旬より（3月末まで予定） 月に3回 土曜日の2時間
- 場所 | 守山市立図書館 集会室2
- 実施内容 | ①子どもたちの持ち寄った宿題ややりたい勉強をサポート
②読み聞かせ（紙芝居）やゲームなど、リラックスタイム
- 広報方法 | ①参加者募集
教育委員会様を通じた市内13小中学校へのチラシの配布
守山国際協会様を通じたメール周知
滋賀県国際協会様での日本語学習支援団体データ掲載
チラシ掲載の公式LINEを通じた実施カレンダー・情報配信
②参加者募集
守山国際協会様を通じたお声がけ・チラシ配布
チラシ掲載の公式LINEを通じた実施カレンダー・情報配信

これまでの成果

- 実施回数 | 10回（2022年10月20日現在）
- 参加したこどもたち | 守山市内外より7人（小学生）
- 参加者公式LINE登録者数 | 11人
- 協力頂いたボランティア | 13人
※高校生から定年退職された方まで幅広い年齢層の皆様にご協力頂いています。

ボランティア用公式LINEはこちらから



今後の課題

より多くのニーズある子ども・ご家庭にこの事業を知ってもらい、参加してもらうこと。今後更に加速するであろう地域の国際化・多様化がよりスムーズに、互いに助け合いながら進められるよう、ニーズある子供たちをサポートできる場として定着することが目標です。

参加者用公式LINEはこちらから

